

新居浜市上・工・下水道事業 ウォーターPPP 導入に向けた サウンディング調査（第2回）の結果の公表について

令和6年10月31日
新居浜市上下水道局下水道課

1. 目的と経緯

新居浜市の上水道事業、工業用水道事業、下水道事業については、持続可能な事業運営を目指し様々な取り組みを進めてきたところでありますが、今後さらに加速する「ヒト」、「モノ」、「カネ」の課題に対して、より効率的な事業運営が必要であり、その解決手法の一つとしてPPP/PFIの導入拡大について検討を進めております。

現在までの検討の結果、本市において効果的・効率的な手法としてウォーターPPP（管理・更新一体マネジメント方式：レベル3.5）の導入を目指しており、対象事業としては、事業規模拡大により創意工夫や効率化が図られると判断し、上・工・下水道事業一体での導入を想定しております。

本市の上・工・下水道事業においてウォーターPPPを導入するにあたって、広くご意見・ご要望を求めたいと考え、第1回サウンディング調査（アンケート方式）を実施し、その結果、調査参加企業から事業の有効性や実現性について一定の理解・評価をいただきました。

今回、事業導入に向け、より具体的な課題や改善点等を確認するために、第2回サウンディング調査（対面によるヒアリング）を実施しましたので、その結果について公表いたします。

2. 第2回サウンディングの実施スケジュール

本調査のスケジュール及び実施方法は、以下のとおりです。

【第2回サウンディング調査（ヒアリング）】

項目	スケジュール
サウンディング（対面によるヒアリング）の実施	令和6年10月1日（火）～10月4日（金）
結果概要の公表	令和6年10月31日（木）

3. 第2回サウンディング調査の対象

第1回マーケットサウンディング（アンケート方式）において、ヒアリングへの協力意向のあった企業のうち、以下の要件のいずれかに該当した企業（9社）を対象に、対面もしくはWEBにより、個別ヒアリングを実施しました。

【要件1】本事業にたいして代表構成員としての参画を第1希望としている企業

【要件2】本事業にたいして構成員としての参画を第1希望としている企業のうち以下の条件のいずれかに該当する企業

- ・処理場に関して維持管理を専門として事業を行っている企業
- ・下水管渠について修繕・清掃・点検について対応可能な企業
- ・水源施設及び工業用水施設の維持管理に対応可能な企業

4. 第2回サウンディング調査の結果の概要

サウンディング調査の結果の概要を以下に示します。

質問項目	結果の概要
①事業への参画意欲	◆先進的な事例でもあることより、全社引き続き参画意欲があることを確認している。
②事業スキームについて	◆SPCには実態を持たせるべき。 ◆SPCの運用費用を予算として計上するべき。 ◆様々な分野で地元企業の協力は不可欠。(積極的に活用したい。) ◆他事業との連携について、非常時において一定のバックアップは可能。要求水準において分野横断の弊害とならない配慮が必要。
③リスク分担について	◆事業開始後に発覚するリスクも多数潜在していることより、第一期では柔軟に協議しながら進めていく形を求める企業が多い。 ◆物価変動については、近年の急激な物価上昇の影響もあり、できるだけ民側のリスクにならないような、契約変更ルールの設定が求められている。 ◆交付金の充当具合による、更新工事の遅れによる要求水準の未達や維持管理費増大のリスク設定について協議が必要。 ◆保険の加入について、現在、市で加入している保険は市で継続することが望ましい。 ◆不可抗力リスクは民側に設定すべきではない。
④契約・支払い	◆積算基準日を明確化し、契約金額が実勢価格と乖離しないような配慮が求められている。
⑤事業者選定について	◆対話の機会を多く設けることが求められている。
⑥管理指標設定	◆処理場等の施設については水質等の出口部分を指標として設定することが望ましい。 ◆管路について、適当な指標が無く設定は現実的でない。

5. 今後の予定

各社に協力いただいた計2回のサウンディング調査結果を踏まえて事業内容を再精査し、今後、事業概要書の公表により改めて皆様からのご意見を伺う予定としています。